



滋賀銀行は、「エコ・ファースト企業」として、「環境経営」に取り組んでいます。

For the Future with You

～お客さまと地域の持続可能な成長のために～



滋賀銀行

ミニディスクロージャー誌

なるほど しがぎん

平成25年
4月1日

～

平成26年
3月31日



発行／平成26年6月
編集／滋賀銀行 総合企画部 広報室
電話／077(521)2202
<http://www.shigagin.com>

SHIGA BANK

ごあいさつ



皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

滋賀銀行は、平成25年10月、おかげさまで創立80周年を迎えました。これもひとえに長年にわたる皆さまのご愛顧とご支援の賜物と心から感謝申し上げます。

さて、日本経済は、個人消費や設備投資などの内需を中心に景気回復の動きが広がるなど明るい兆しが見られます。一方、少子高齢化による人口構造の変化や地域間格差の拡大、財政問題、更には中国経済をはじめ、新興国や資源国の景気減速など、経営をとりまく環境は決して楽観を許さない状況にあります。

私は、このような現代社会が内包する諸問題を解決し、持続可能な成長を実現する“カギ”は「地域社会の活性化」にあると考えます。

当行は、皆さまからのご期待にお応えするために、平成25年4月、地域社会への更なる貢献を目指して第5次長期経営計画をスタートさせました。従来の取り組みに加え、成長分野への新規事業開拓を応援する「しがぎん成長戦略ファンド」を設立する一方、農業分野でのサポート体制強化を目指した「アグリビジネスローン」の取り扱いを開始するなど、第二創業、ニュービジネス創造に向けた取り組みを推し進めています。

今後とも、地域社会の活性化と持続可能な社会づくりに全力で取り組んでまいりますので、より一層のご愛顧、お引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

平成26年6月

取締役頭取

大道良夫

CSR憲章 [経営理念]

行是
自分にきびしく
人には親切
社会につくす

私たちは、伝統ある近江商人の「三方よし(売り手よし、買い手よし、世間よし)」の精神を継承した行是「自分にきびしく 人には親切 社会につくす」をCSR(企業の社会的責任)の原点とし、社会の一員として「共存共栄」を実現してまいります。

地域社会との 共存共栄

地域とともに歩む銀行として、お客さまの信頼と期待にお応えするため、「健全」と「進取」の精神を貫き、地域社会の発展に努めます。

役員職員との 共存共栄

役員職員一人ひとりの人権や個性を尊重し、働きがいのある職場づくりに努め、心身ともに「クリーンバンクしがぎん」の実現に努めます。

地球環境との 共存共栄

琵琶湖畔に本拠を置く企業の社会的使命として「環境経営」を実践し、地球環境を守り、持続可能な社会づくりに努めます。

滋賀銀行データ

名称	株式会社 滋賀銀行 THE SHIGA BANK, LTD.
本店所在地	滋賀県大津市浜町1番38号
設立	昭和8年10月1日
総資産	4兆7,558億円
預金残高	4兆2,688億円 (譲渡性預金含む)
貸出金残高	2兆9,248億円
資本金	330億円
従業員	2,262人
店舗数	138カ店(うち代理店10カ店) (平成26年3月31日現在)

CONTENTS

● ごあいさつ	1
● 個人のお客さま	3~4
● 法人のお客さま	5~6
● アジアネットワーク	7~8
● CSRの取り組み	9~10
● ニュービジネス育成	11
● しがぎんTOPICS ①	12
● 財務データ	13~20
● 地域密着型金融の取り組み	21
● しがぎんTOPICS ②	22

サービスも、店舗も、 もっとお客さまの暮らしに 寄り添う「しがぎん」へ

■ 貯蓄から投資へ!NISAセミナー開催

「貯蓄から投資へ」の流れを踏まえて、お客さまの資産運用やNISAに対するご理解を深めていただくため、NISAセミナーを開催しています。休日や「パーソナル」でも随時開催しています。

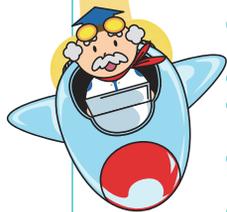


NISA^{ニーサ}ってなに??

NISA(ニーサ)は「少額投資非課税制度」の愛称です。平成26年1月より、投資収益が非課税となる新たな制度が導入され、日本に住む20歳以上のすべての方が利用できる制度です。

NISAの5つのポイント!

- ① 株式投資信託・上場株式の譲渡所得・配当所得が非課税
- ② 対象は満20歳以上の居住者等
- ③ 平成26年から平成35年まで毎年100万円の非課税投資枠
- ④ それぞれ投資をはじめた年から最長5年間の非課税期間
- ⑤ 非課税投資枠は最大500万円



■ 資産運用は「パーソナル」、 住宅ローンは「しがぎんプラザ」へ

ご相談体制を充実させる取り組みの一環として、休日も営業する総合的な資産運用のご相談窓口「パーソナル」と住宅ローンのご相談窓口「しがぎんプラザ」を県内に設置し、お客さまのライフスタイルにあわせた相談にお応えしています。

■ 『しがぎん』Sカードローン(サットキャッシュ) リニューアル

お客さまの消費ニーズにお応えするために、平成26年3月に『しがぎん』Sカードローン(サットキャッシュ)をリニューアルしました。

お借入極度額に「400万円型」、「500万円型」を追加するとともに、お借入極度額に応じたご融資利率も最下限金利が年4.8%(平成26年5月1日現在)となり、お客さまに一層ご利用いただきやすくなりました。

当行では、今後もお客さまのニーズにお応えするとともに、地域の健全な消費者金融市場の形成に寄与してまいります。



■ 環境配慮型店舗「唐崎支店」新築移転オープン

唐崎支店(大津市)は平成26年3月10日、新築移転し、町並みに配慮したデザイン、広い営業スペースなど、店舗機能を充実させた支店に生まれ変わりました。太陽光発電やソーラー街路灯等を採用し、「クリーンバンクしがぎん」として環境に配慮しています。

当行は第5次長期経営計画に「お客さまの利便性が向上するチャネル機能の見直し」を掲げ、店舗機能の充実に取り組んでいます。



「地域の発展とともに当店も成長し続けていきたい」と山本支店長(左)

地域の皆さまと手をとり 経済・産業の活性化を進 めてまいります

■ 成長分野への取り組み

＜新エネルギー＞

太陽光発電事業への取り組み＞

平成24年7月に「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」が開始して以来、太陽光発電事業向け融資は300件を超えました。また、ABL（売掛債権担保および動産担保融資）を活用した太陽光発電事業向け融資にも取り組んでいます。

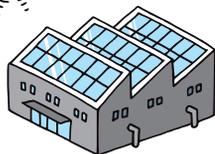
＜GREEN POWERプロジェクト まちエネ大学＞

経済産業省資源エネルギー庁「GREEN POWERプロジェクト」の一環として全国で初めて実施された、地域の再生可能エネルギー事業者育成講座「まちエネ大学」滋賀スクールに協賛しました。受講生には、具体的な事業計画作成を通して、事業構築の考え方等を学んでいただきました。

＜“農・食”販路拡大セミナー、

6次産業化セミナー＞

平成25年7月と平成26年2月に「“農・食”販路拡大セミナー」を開催し、農業・漁業・食品製造業などのお取引先を対象に生産した食材や商品のプロモーション・PR方法について学んでいただきました。また、滋賀県の農産物や資源を生かして新しい価値を生み出していく6次産業化の普及・啓発を目的として平成25年4月に6次産業化セミナーを開催しました。



セミナーの様子

6次産業化とは??

地域資源（農林水産物、風景、伝統文化など）と産業を結びつけ、新たな農林漁業を実現するもので、具体的には、農林漁業者が生産（1次産業）、製造・加工（2次産業）、販売・流通（3次産業）を一体的に行うことや、2次産業者・3次産業者と連携し、地域ビジネスや新たな産業を創出することです。

■ 地域活性化!滋賀県、商工会などと連携強化

＜滋賀県と「地域密着連携協定」締結＞

平成26年3月20日、金融機関としては初めて滋賀県と「地域密着連携協定」を締結しました。本協定では、県内産業の振興や地域の活性化などの全11項目で連携。滋賀県との相互連携関係をより一層強化し「地域経済への更なる貢献」への取り組みを強化します。



【新規取組】

① 中小企業活性化施策の普及・浸透

・滋賀県職員による当行行員向けの中小企業活性化に関する各種施策等の説明会等を実施し、当行のお取引先サポート体制を強化

② 県内企業の海外展開支援

・県内企業向け「アジア展開セミナー」「華南ネットワーク会議」「FBC上海2014(日中ものづくり商談会)」の共催



③ 「旅の地産地消」の推進

・当行店舗40力店に市町等作成の観光パンフレットの掲出、県内観光情報の発信

④ 官民連携手法の研究

・PPP / PFIといった官民連携手法の事例や手法の協働研究
・公共施設整備等における官民連携手法の導入に向けた支援

⑤ ヨシ群落保全活動の拡充

⑥ 県内全店舗で「子ども110番の店」として子供の安全を守る活動を展開



＜滋賀県内22商工会と「創業・新事業支援についての覚書」を締結＞

創業・新事業や第二創業を行う個人、中小企業・小規模事業者へのサポート強化の一環として、滋賀県内のすべての商工会と覚書を締結しました。

これにより事業計画策定などの経営支援や金融面でのサポートが、よりスムーズに受けられるようになりました。

おかげさまで香港支店開設 アジアネットワークもます

■ 香港支店は20周年、上海駐在員事務所は10周年

近畿地銀で唯一の海外支店である香港支店、上海駐在員事務所が、平成25年度にそれぞれ20周年、10周年を迎えました。日頃の感謝の気持ちから、平成25年12月に香港と上海それぞれの地で「お取引先さまの集い」を開催し、195社217名のお客さまにご参加いただきました。お取引先の海外ビジネスをサポートするとともに、お取引先の業績向上、そして地域経済全体の活性化を図っていきます。



滋賀製品の展示の他、近江牛や滋賀の地酒で現地法人の皆さんに郷里を思い出していただきました。

■ ASEANビジネスのサポート拡大

ベトナムの商業銀行であるベトコム銀行と提携関係を結びました。これによりベトコム銀行の日系企業担当窓口(ジャパンデスク)やベトナム国内の拠点網の活用が可能となりました。経済発展著しいベトナムをはじめ、ASEAN各国でのビジネスサポートメニューを今後も充実していきます。

【業務提携・協力銀行等】

(締結順)

銀行名	提携・協力時期
①ベトコム銀行(ベトナム:ハノイ)	平成25年12月
②香港貿易発展局(香港)	平成25年9月
③メトロポリタン銀行(フィリピン:マニラ)	平成25年7月
④タイ国投資委員会(タイ:バンコク)	平成25年6月
⑤インドステイト銀行(インド:ムンバイ)	平成25年2月
⑥バンクネガラインドネシア(インドネシア:ジャカルタ)	平成24年9月
⑦バンコック銀行(タイ:バンコク)	平成20年11月
⑧カシコン銀行(タイ:バンコク)	平成20年11月
⑨中国銀行(中国:北京)	平成15年6月
⑩中国工商銀行(中国:北京)	平成14年11月

20周年。 ます充実しています

滋賀県
等と

■ 第1回「アジア展開セミナー」開催

滋賀県と締結した「地域密着連携協定」による新規取組として、(公財)滋賀県産業支援プラザ、滋賀県と平成26年3月14日に第1回「アジア展開セミナー」を初開催しました。

第1部では、中国と東南アジアに進出している製造業について、商談会を活用した事業拡大の事例を紹介。第2部では、海外進出のための留意点について税金面を切り口に講演いただきました。

本セミナーはアジア各国へ事業展開を検討されている地元企業に情報を発信するため、年数回の開催を予定しています。



ASEANの今ここがアツイ!!

カンボジア



来年のASEAN経済統合を控え、世界中の注目を集めているのが、カンボジアを東西に貫き、ベトナムとミャンマーを結ぶ南部経済回廊。現在カンボジアの全区間で拡幅工事や橋梁の架け替えが急ピッチで進められています。日本からのODA(政府開発援助)のほか、メコン川のネアックルン大橋プロジェクトには日本のゼネコンが技術支援をしています。今は舗装もままならない片側1車線ですが、完成後は片側2車線になります。数年後にはASEANの大動脈を中心に、周囲の風景も一変することでしょう。



環境へのさまざまな取り組みの成果も

少しずつ、実を結びはじめています

■ 「第17回環境コミュニケーション大賞」ダブル受賞の初快挙!!



環境報告書部門：環境報告大賞（環境大臣賞）
テレビ環境CM部門：優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）

牧原環境大臣政務官から大道頭取に表彰状が贈られました

平成25年10月に発行した「CSRレポート2013 歩みを、共に。」が「第17回環境コミュニケーション大賞（主催：環境省、一般財団法人 地球・人間環境フォーラム）」で、環境報告書部門で最高位の「環境報告大賞」を、平成25年7月より放映しているテレビCM「ニゴロブナ・ワタカ放流」篇がテレビ環境CM部門で「優秀賞」を受賞しました。本賞での受賞は4回目ですが、ダブル受賞は初めてです。



CMの一コマ

■ 高等学校「現代倫理」の教科書に 当行のCSR活動が掲載

株式会社清水書院が平成26年2月に発行した高等学校「現代倫理」の教科書に「企業による社会貢献活動」の事例として、当行の環境保全活動や「環境金融」への取り組みが掲載されました。



■ 企業による社会貢献活動（公益活動の枠を超えて環境保全活動を行う銀行員）
この銀行では、役職員が地域の環境保全活動に取り組んでいる。
また、銀行の本業である金融を通じて、環境保全事業への融資や、定款等に学校の環境学習への支援を組み込んだ製品の開発などを行っている。これらの社会貢献活動は、近江商人の精神を受け継ごうとするものであるという。
近江商人の精神とは「売り手よし、買い手よし、世間よし」の「三方よし」といわれるもので、商売とは売り手の利益だけでなく買い手の利益にもなり、さらに社会の利益にもなるべきであるという理念である。（日本の商業道徳について-p.97石田梅次郎の提唱）

組みの成果も

ています



■ 役職員約600名の ビワマス遡上プロジェクト

創立80周年記念事業「いきものがたりプロジェクト」として、琵琶湖の固有種で準絶滅危惧種のビワマスを、約600名の役職員が卵から育て、米原市天野川支流に放流する「ビワマス遡上プロジェクト」を実施しました。「生物多様性保全と食文化を守る」との観点から、米原市などと協働で取り組んだものです。

平成26年3月16日（日）の放流式では地元の皆さんとともに総勢450名で約12,000匹のビワマスの稚魚を放流しました。





ニュービジネスを 育成しています!



お取引先の「新たな成長を実現するニュービジネス(新規事業)」の育成のため、①「サタデー起業塾」の開講によるニュービジネスのヒントを提供、②ニュービジネス支援ネットワーク「野の花応援団」による産学官連携、③多様な資金ニーズにお応えする「しがぎんニュービジネスサポート資金」や「しがぎん成長戦略ファンド」による投資など幅広く活動しています。「野の花応援団」を活用した、平成25年度ニュービジネスサポートコーディネート活動は、106件にのぼっています。

《ビジネスフォーラム「サタデー起業塾」》

医療関連産業、地域資源、次世代インフラのテーマに沿って、各分野で活躍されている経営者の講演、専門家による各分野の最新動向の紹介などを行い、旺盛な起業家精神をサポートしています。



講演の様子
熱心に質問をされる受講生



《ニュービジネス奨励金「しがぎん野の花賞」を贈呈》

「しがぎん野の花賞」は産学官(産産含む)連携で、ニュービジネスに取り組み、成果を上げられた「サタデー起業塾」の受講生を表彰するもので、新事業や新商品・新サービスへの取り組みを奨励していただくの思いを込めています。平成25年度は5企業に総額50万円を贈呈。創設(平成15年)以来の累計は78先、総額780万円になりました。



平成25年度の受賞者の皆さん

しがぎん トピックス

TOPICS ①

■ スマートフォンサイト開設で便利に

平成26年3月、スマートフォンに対応したホームページを開設しました。

画面の見やすさ、操作のしやすさに配慮したデザインを採用するとともに、「店舗・ATM検索」や「各種手数料」のページを充実し、外出先でも便利にご利用いただけるようになりました。



■ 近畿地銀で初めて!

しがぎん、LINE@はじめました!



滋賀銀行

平成26年3月、
近畿の地方銀行で初めて
スマートフォンのコミュニケーションアプリ
「LINE@」のアカウントを
開設しました!!!
キャンペーンや便利なサービス等の
タイムリーな情報を
配信しています 📱📱📱
皆さん、是非、お友だち登録を
してくださいね 🎵🎵



LINE@
×
「しがぎん」公式アカウント
@shigagin



お客さまと地域の成長の ために、 ともに歩んでまいります

個人・法人ともに順調に増加

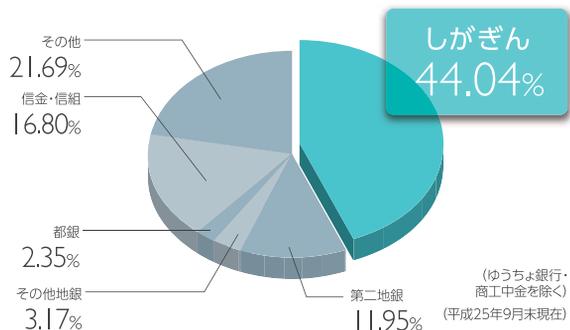
預金等

当期も地域の皆さまからのご支持を受けて、期中平均残高は前期比1,083億円増加し、4兆2,228億円と順調に推移しています。コアとなる個人預金の期中平均残高は3兆1,809億円で前期比622億円の増加となりました。

預金等（譲渡性預金含む）期中平均残高



預金残高「滋賀県内シェア」



事業性・消費者向け・地方公共団体向け貸出ともに増加

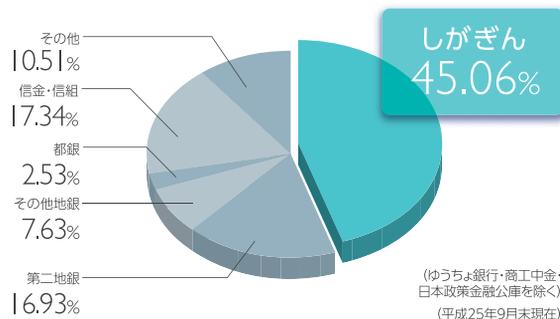
貸出金

当期は、事業性貸出・消費者向け貸出・地方公共団体向け貸出ともに増加し、期中平均残高は2兆8,482億円となりました。前期比957億円、3.47%の増加となりました。

貸出金 期中平均残高



貸出金残高「滋賀県内シェア」



資産の運用も お任せください

多様な資産運用ニーズを親身にサポート

預り資産 残高

投資信託、公共債、生命保険といった預り資産の期末残高は、6,037億円で、前期比242億円の増加となりました。そのうち、個人の預り資産残高は5,887億円で、前期比256億円の増加となりました。

預り資産残高



預り資産残高 内訳



※生命保険は、取扱開始(平成14年10月)以降の取扱保険料累計です。

格付は安心の 「Aクラス」を確保

2つの格付機関が「A+」と高い評価

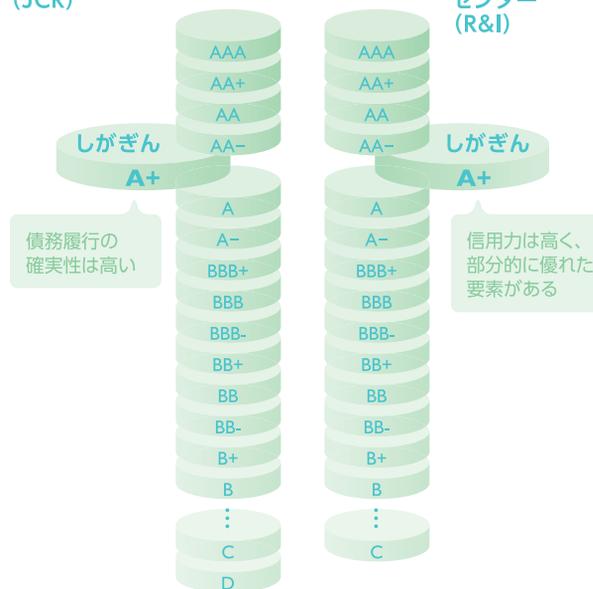
格付

「大切なお金は、安心できる銀行に預けたい」。格付はお客さまに安心して銀行をお選びいただくひとつの目安となる外部評価です。

当行は、2つの格付機関からともに「A+」を取得し、信用度について高い評価をいただいています。

日本格付研究所 (JCR)

格付投資情報 センター (R&I)



用語説明

格付

銀行預金の元金支払の確実性や安全性について、利害関係のない第三者が判断してその結果を簡潔な記号で表したものです。銀行を判断するうえで、安全性・信用度を客観的に評価した重要な指標のひとつです。

これからも「安全」「健全」な経営に努めます

自己資本比率も国際統一基準を大きくクリア

自己資本比率 (連結)

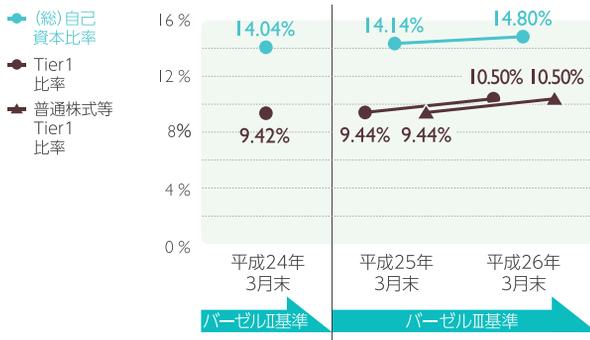
自己資本比率は、銀行の安全性、健全性を図る指標のひとつです。当行のように海外に営業拠点を持つ銀行は、国際統一基準を満たしていなければなりません。当行の自己資本比率は14.80%（バーゼルⅢ基準、平成26年3月末、連結ベース）と国際統一基準を大きくクリアしています。

平成26年3月末

	実績	最低所要比率
連結 総自己資本比率	14.80%	8.0%以上
同 Tier1比率	10.50%	5.5%以上
同 普通株式等Tier1比率	10.50%	4.0%以上

※平成25年3月末より、バーゼルⅢ基準による自己資本比率を算出しております。

(ご参考:自己資本比率推移)



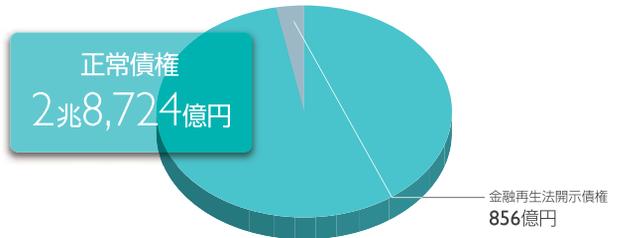
用語説明

自己資本比率

銀行の安全性、健全性を判断する基準のひとつに、自己資本比率があります。海外に支店を有する国際統一基準行では新たな自己資本比率規制（バーゼルⅢ）が平成25年3月期決算から段階的に導入され、各最低所要比率を満たす必要があります。

不良債権の状況

当行の金融再生法に基づく開示債権の合計は前期比50億円減少し856億円、総与信に占める比率は2.89%で前期比0.27%の低下となりました。また、貸倒引当金や担保などによる保全率は71.97%で前期比3.23%の低下となりました。



金融再生法開示債権



用語説明

不良債権比率

貸出金等の総与信残高に占める不良債権の割合です。不良債権比率が低いほど、資産の質は高くなります。銀行ごとにその資産総額の規模が異なることから、この比率が銀行の健全性をみる指標のひとつになります。

お知らせします、しがぎんの業績

業績ハイライト

- 貸出金の期中平残高は増加したものの、貸出金や有価証券の運用利回りの低下により、業務粗利益は前期比14億円の減益となりました。

- 資金利益が減少したものの、与信コストが前期比32億円減少し、株式関係損益も前期比21億円改善したことから、経常利益は前期比48億円の増益、当期純利益も前期比53億円の増益となりました。

業務粗利益

銀行本来の業務（貸出業務、為替業務、有価証券運用など）から得た利益です。

単位：億円



経常利益

業務純益から株式の売却損益や不良債権処理に関わる費用などをプラス・マイナスした利益です。

単位：億円



業務純益

一般企業でいう営業利益にあたります。
 $業務純益 = 業務粗利益 - 経費（人件費、物件費など） - 一般貸倒引当金繰入額$

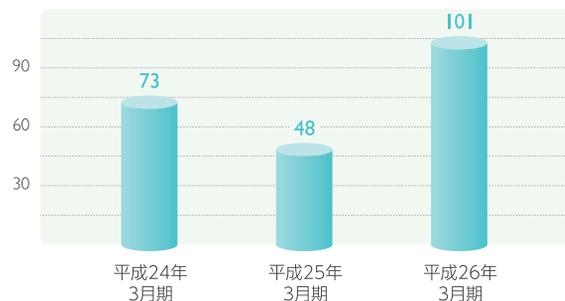
単位：億円



当期純利益

経常利益から法人税や事業税等を差し引いた最終的な当期の利益です。

単位：億円



お客さま・地域とともに 未来へ歩む

当行はこれからの10年を展望したあるべき姿を『お客さま・地域とともに未来へ歩む銀行』とし、その第一ステージとして平成25年4月に第5次長期経営計画をスタートさせました。お客さまと地域の持続可能な成長のために、当行独自の「3つのブランド戦略～知恵と親切の提供」（「ネットワークのしがぎん」「アジアに強いしがぎん」「CSRのしがぎん」）の実践に具体的な数値目標を掲げて取り組み、地域社会との更なる共存共栄の実現を目指してまいります。

地域密着型金融の推進の目標および実績（平成25年4月～平成26年3月）

取組項目	平成28年 3月末目標	平成26年 3月末実績	
第5次長期経営計画の挑戦指標			平成26年 3月末 進捗率 (%)
ROE(連結)	3.0%以上	3.99%	
OHR(単体)	70%未満	70.18%	
普通株式等Tier1比率(連結)※1	10.0%以上	10.50%	
温室効果ガス排出量削減※2	20%削減	22.99%削減	
[3つのブランド戦略～知恵と親切の提供～]に関する取り組み			
1. 「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み			
ビジネスマッチング商談件数★	3,000件	1,300件	43.3%
ニュービジネスサポート:コーディネイト活動件数	150件	106件	70.6%
事業性融資先お取引先数	18,000先	18,205先	101.1%
格付コミュニケーション・サービス実施先数(累計)★	3,200先	2,805先	87.6%
経営改善計画策定支援先数(累計)※3	3,000先	2,835先	94.5%
2. 「アジアに強いしがぎん」に関する取り組み			
海外ビジネスサポート件数※4★	4,300件	2,267件	52.7%
海外商談会、セミナー、ミッションの実施回数	30回	17回	56.6%
3. 「CSRのしがぎん」に関する取り組み			
PLB資金、エコ・クリーン資金実行件数※5	600件	216件	36.0%
エコプラス定期取扱件数、 ネット投票電子交付サービス契約件数(合計)	500,000件	155,540件	31.1%
ボランティア活動参加延べ人数★	7,500名	2,750名	36.6%

★印は第5次長期経営計画の地域貢献目標として掲げている項目です。
 ※1 普通株式等Tier1比率(連結)…パーゼルⅢベースの数値を記載しております。
 ※2 温室効果ガス排出量削減…2013年度から2015年度の3年間平均で2006年度比較20%削減。
 ※3 経営改善計画には、当行所定の「ご相談シート」による簡易な計画も含まれます。
 ※4 国際部アジアデスクおよび当行の海外拠点(香港支店、上海駐在員事務所、バンコク駐在員事務所)によるサポート。
 ※5 PLB資金…「しがぎん」琵琶湖原則(Principles for Lake Biwa)支援資金。

TOPICS ②



■ 滋賀銀行の新CMIは 「アジアに強いしがぎん」篇!!

当行のブランド戦略の1つは「アジアに強いしがぎん」。新CMIには、近畿地銀で唯一の海外支店である香港支店と、上海駐在員事務所・バンコク駐在員事務所を中心としたネットワークで、これからも地元企業の皆さまのアジアビジネスをサポートしていく、との思いを込めました。7月からびわ湖放送や

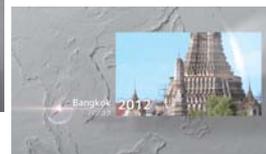
当行HPでオンエアします。



♪ 私たち滋賀銀行は、近畿地銀の中でいち早く、アジアに支店、駐在員事務所を開設しました。



世界を相手に事業活動する企業さまのよりスムーズな展開のために。



アジアでのビジネスシーンにおいてもお客さまへのきめ細やかなサポートを。



アジアに強い。
My Happy しがぎん♪